

石水

生誕二〇〇年記念企画展



川喜田

あきな
— 商いを守り、文化をつなぐ —

KAWAKITA SEKISUI

開館時間／10時～17時(入館は16時30分まで)
休館日／毎週月曜日
入館料／一般500円[400円]・学生300円(高校生以上)
※[]内は20名様以上の団体料金

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18
【TEL】 059-227-5677 【FAX】 059-213-5789
<https://sekisui-museum.or.jp/>

協賛：株式会社百五銀行



2023
1/28 SAT
→ 4/2 SUN

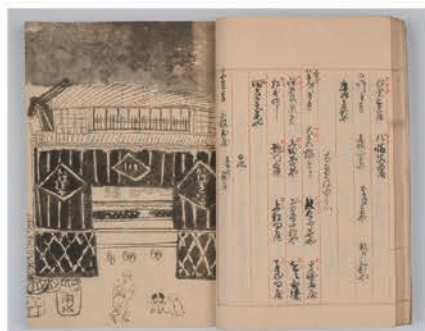
生誕200年記念企画展

かわき た 川喜田 せき すい 石水

川喜田家14代当主の石水(1822~79)は、木綿を商う伊勢商人として、激動の幕末にあって家業の商いを守り通しました。その一方、本草学(動植物などの研究)を学び、師の山本榕室の学業を経済的に支えたほか、松浦武四郎とは同じコイン収集家として情報を交換しあうなど、伊勢国における文化交流の中心的存在でもありました。また、明治維新後は藤堂家から茶道具の名品を継承し、津における茶の湯文化を伝える役目を果たしました。

本展では、石水の生誕200年を記念し、歴史・文学・美術など様々な資料や作品から、当館の名称の由来にもなった川喜田石水の実像に迫ります。

あきな
商いを守り、文化をつなぐ



1 激動の幕末、「川喜田」の暖簾を守り通す!



2 京都の本草学者を支えるため、高価な動物の図鑑を購入



3 江戸の浮世絵師からも購入の依頼が! その時、石水は...!?



4 親友・松浦武四郎とともに、集めたコインコレクション



5 藤堂家の茶の湯文化を継承

6 義兄・竹川竹斎秘蔵の古文書を受け継ぐ

1. 『旅窓漫筆』 川喜田石水筆 嘉永6年(1853)
 2. 『百鳥図』 山本溪山画・山本榕室鑑 嘉永3年(1850)
 3. 時世花鳥風月花 三代歌川豊国画 嘉永2~5年(1849~52)
 4. 秋田銀判(九匁二分) 秋田藩鑄造 文久3年(1863)
 5. 伏見上皇院宣(射和文書のうち) 延慶2年(1309)
 6. 竹一重切花入 銘 音曲 千利休作 桃山時代(藤堂家伝来)
- ※すべて館蔵

ギャラリートーク 担当学芸員が展示室にて展覧会をご案内します。

日時:2月4日(土)、2月26日(日)、3月10日(金)
3月25日(土)、4月2日(日) 各日14時より30分程度

※申し込みは不要。当日14時までに石水博物館受付前へお越しください。
※参加費は無料ですが、当日の入館料が必要です。

同時開催 (第2展示室) 所蔵品展《川喜田半泥子の作品と季節の館蔵品》

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、チラシの掲載内容に変更が生じる場合があります。当館ホームページまたは電話にて、最新の情報をご確認ください。また、ご来館の際には、感染症予防対策にご協力ください。

次回展覧会 企画展

「川喜田半泥子が見た欧米
—100年前の海外旅行—」

会期:4月8日(土)~6月18日(日)

展示替休館 4月3日(月)~7日(金)

交通アクセス

- JR・近鉄津駅東口より三重交通バス(久居駅方面行)にて約15分、「青谷口」下車徒歩約8分
- 近鉄久居駅西口より三重交通バス(津駅方面行)にて約10分、「青谷口」下車徒歩約8分
- JR阿漕駅より徒歩約12分
- お車をご利用の方
【津市街から】国道23号線「大倉」交差点を県道776号線(久居方面)へ。JRの踏切を越え、約200m先岩田池手前の細い道(角に看板あり)を左折、約300m先左側。(駐車場 15台)

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18
【TEL】059-227-5677 【FAX】059-213-5789
<https://sekisui-museum.or.jp/>



第1展示室

没後200年記念企画展

川喜田石水—商いを守り、文化をつなぐ—

令和5年1月28日（土）～令和5年4月2日（日）

出品目録

No.	作品名	作者・筆者など	年代	形質・員数など
1	川喜田石水像	作者不詳	明治時代初期	油彩、キャンバス・1面
2	『旅窓漫筆』	川喜田石水筆	嘉永6年（1853）	紙本墨書・1冊
3	東都大伝馬街繁栄之図	歌川広重画	天保14年（1843）～ 弘化4年（1847）	多色摺・大判3枚続
4	『定目』	川喜田石水筆	江戸時代末期	紙本墨書・1冊
5	『要録』	川喜田石水筆	文久4年（1864）頃	紙本墨書・1冊
6	川喜田遠里・政寛像	浄全筆	明治2年（1869）	紙本着色・1幅
7	万延大判	後藤典乗署判	万延元年（1860）	金・1枚
8	『要用書簡控』	川喜田石水筆	慶応4年（1868）頃まで	紙本墨書・1冊
9	『摂播・西京旅日記』	川喜田石水筆	明治4年（1871）	紙本墨書・1冊
10	『三都諸国親類并ニ懇意附合所書扣』	川喜田石水筆	明治時代初期	紙本墨書・1冊
11	黒茶碗 銘 ぬり笠	樂常慶作	江戸時代前期	陶製・1口
12	黒茶碗 銘 むらくも	樂道入作	江戸時代前期	陶製・1口
13	◎松平不昧書状	自筆、和泉守宛	江戸時代後期	紙本墨書・1幅
14	『藤堂和泉守侯御所持 御名器拝見物之記』	川喜田石水筆	明治4年（1871）	紙本墨書・1冊
15	堀内宗普・宗完連署状	川喜田政豊宛	明治9年（1876）	紙本墨書・1通
16	竹一重切花入 銘 音曲内箱	伝 近衛基熙筆	江戸時代中期	漆器・1口
17	竹一重切花入 銘 音曲	千利休作	桃山時代	竹製・1口
18	千利休書状	伝 自筆、古田織部宛	桃山時代	紙本墨書・1幅
19	松浦武四郎書状	自筆、川喜田石水宛	安政3年（1856）	紙本墨書・1通
20	『退食間話』	会沢正志斎著	嘉永7年（1854）写	紙本墨書・1冊
21	『近世蝦夷人物誌』	松浦武四郎筆	安政4年（1857）	紙本墨書・3冊のうち
22	『昌平宝鑑』	松浦武四郎筆	元治2年（1865）	紙本墨書・1冊
23	秋田九匁二分銀判	秋田藩鑄造	文久3年（1863）	銀・1枚
24	秋田四匁六分銀判	秋田藩鑄造	文久3年（1863）	銀・1枚
25	仙台小槌銀	仙台藩鑄造	文久3年（1863）	銀・1個
26	仙台通宝	仙台藩鑄造	元治元年（1864）	1枚
27	寛永通宝（仙台銭）	仙台藩鑄造	安政5年（1858）	2枚
28	箱館通宝	箱館奉行所鑄造	安政3年（1856）	1枚

No.	作品名	作者・筆者など	年代	形質・員数など
29	布貨・刀貨	鑄造元不詳	春秋戦国時代	青銅製・2枚
30	『洋貨図録』	松浦武四郎筆	元治2年(1865)	紙本墨書・1冊
31	2.5ギルダー銀貨	オランダ王国鑄造	1847年(ウィレム2世)	銀・1枚
32	2.5ギルダー銀貨	オランダ王国鑄造	1851年(ウィレム3世)	銀・2枚
33	5フラン銀貨	フランス共和国(第二共和政)鑄造	1849年	銀・1枚
34	1ルーブル銀貨	ロシア帝国鑄造	1858年	銀・2枚
35	25カペイカ銀貨	ロシア帝国鑄造	1858年	銀・2枚
36	50セント銀貨	アメリカ合衆国鑄造	1854年	銀・1枚
37	メキシコ8レアル銀貨	メキシコ合衆国鑄造	1858年	銀・1枚
38	改三分定銀	メキシコ合衆国鑄造	安政6年(1859)	銀・1枚
39	梅屋鶴寿書状	自筆、川喜田石水宛	嘉永7年(1854)	紙本墨書・1通
40	見立桃灯蔵 三段目	歌川国芳画	弘化5年(1848)	多色摺・大判1枚
41	二代歌川国貞書状	自筆、川喜田石水宛	安政3年(1856)	紙本墨書・1通
42	『木下影真砂模絵』	藤本吐蚊填作 歌川国政画	嘉永5年(1852)刊	多色摺・4巻合2冊
43	時世花鳥風月 花	三代歌川豊国画	嘉永2~5年(1849~52)	多色摺・大判3枚続
44	『草木禽獣産物図会』	川喜田石水注 山本榕室鑑	嘉永2年(1849)頃	紙本着色・1帖
45	『沙苑蕨藜考』	山本亡羊考 山本溪山画	嘉永7年(1854)刊	多色摺・1鋪
46	『百鳥図』	山本榕室鑑 山本溪山画	嘉永3年(1850)	紙本着色・1帖
47	射和萬古 寿老人香合	竹川竹斎旧蔵	安政4年(1857)頃	陶製・1口
48	伏見上皇院宣(射和文書のうち)	藤原雅任奉 竹川竹斎旧蔵	延慶2年(1309)	紙本墨書・1通
49	六字名号	伝 親鸞筆	年代不詳	紙本墨書・1基
50	塙忠宝書状	自筆、川喜田石水宛	江戸時代末期	紙本墨書・1通
51	真味請文	自筆、川喜田石水宛	江戸時代末期	紙本墨書・1通
52	『扶桑略記』卷第二十	皇円編	江戸時代末期	紙本墨書・1冊
53	『結釈生類経画合序品』	鈍阿弥撰 仮名垣魯文ほか序	慶応2年(1866)	紙本着色・2巻2冊
54	『結釈生類興画合解やみのつぶて』	川喜田政豊筆	明治2年(1869)	紙本墨書・1冊
55	川喜田政豊像	作者不詳	明治時代初期	油彩、キャンバス・1面

初公開の作品は1・5・7~9・14~16・20・23~28・31~38・40~42・44~45・48~55

◎は重要美術品。展示作品はすべて館蔵。下記の作品は特別出品。

特	胡蝶図	谷文晁筆・千種有功賛	江戸時代後期	紙本着色・1幅
特	『はなしの種』	川喜田石水筆	安政元年(1854)頃	紙本墨書・1冊

第2展示室

所蔵品展

川喜田半泥子の作品と季節の館蔵品

令和5年1月28日（土）～令和5年4月2日（日）

出品目録

番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
1	享保雛 二軀		江戸時代	
2	紙雛図	川喜田半泥子筆	紙本墨画淡彩・昭和14年（1939）	新収蔵
3	井戸手茶碗 銘 寿山	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和16年（1941）頃	
4	刷毛目茶碗 銘 青海波	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和30年（1955）頃	寄託作品
5	粉引茶碗 銘 雪の曙	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
6	茶碗図（ろくろ引く～）	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩・昭和20年代	寄託作品
7	高麗手茶碗 銘 雅茶子	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
8	志野茶碗 銘 保己一	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	新収蔵
9	古都の春図（花あしびに～）	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩・昭和20年代	
10	織部黒茶碗 銘 暗香	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	藤田コ
11	呼継茶碗 銘 ねこなんちゅ	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
12	黒茶碗 銘 無茶太郎	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和15年（1940）頃	
13	書「一日清閑一日福」	川喜田半泥子筆	紙本墨書・昭和28年（1953）	新収蔵
14	赤楽大茶碗 銘 閑く恋慕	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
15	志野茶碗 銘 あつ氷	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
16	焼締茶碗 銘 福ハ内	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和23年（1948）	藤田コ
17	書「不苦者有智」	川喜田半泥子筆	紙本墨書・昭和20年代	新収蔵
18	唐津手茶碗 銘 浅春	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	寄託作品
19	唐津手茶碗 銘 薄氷	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和16年（1941）	
20	黒筒茶碗 銘 嶋立沢	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
21	割高台茶碗 銘 浮寝鳥	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和24年（1949）	
22	椿図（あら壁の～）	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩・昭和20年代	新収蔵
23	灰釉茶碗 銘 由布	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
24	灰釉茶碗 銘 ぼたもち	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	寄託作品
25	雲鶴手茶碗 銘 千歳の縁	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和26年（1951）	
26	灰釉茶碗 銘 千歳の香	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和26年（1951）	新収蔵
27	茶碗図（ろくろひく～）	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩・昭和20年代	新収蔵
28	伊賀水指 銘 慾袋	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和15年（1940）	

番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
29	つぶれ壺 銘 ふくら雀	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
30	書「政子遺訓」	川喜田政筆	紙本墨書・明治32年（1899）	
31	書「政子遺訓写」	川喜田半泥子筆	紙本墨書・昭和25年（1950）	
32	梅絵四方香合 銘 早春	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
33	粉引手茶入 銘 伊勢みやげ	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	藤田コ
34	灰釉片口 句銘 春雪を～	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	

茶席「山里」内

番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
33	書「愚庵」	川喜田半泥子筆	紙本墨書・昭和26年（1951）	
34	朝鮮唐津水指	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	

※展示作品、展示期間が変更になる場合があります。

※藤田コ＝藤田等風コレクション